

✓ 磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第218号 2022年7月号

だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



いろあざ なつ ま 色鮮やかな夏のトンボたちが舞っています

梅雨^{つゆ}が明け、晴天^{あせいてん}の中、夏のトンボたちが舞っています。7月になり種類^{しゅるい}も数^{かず}もたくさん見られるようになりました。種類^{しゅるい}によっては、色^{いろ}や形^{かたち}、飛び方^{とびかた}などが違います。代表的^{だいひょうてき}な夏のトンボを紹介^{しょうかい}しますので、観察^{くわんさつ}してみてもいいでしょうか。



ショウジョウトンボ♂



ショウジョウトンボ♀



コシアキトンボ♂



コシアキトンボ♀



ハラビロトンボ♂



ハラビロトンボ♀



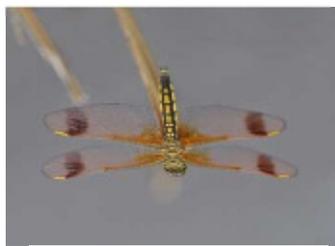
ウスバキトンボ♂



ウスバキトンボ♀



コフキトンボ♂



コフキトンボ♀



オオシカラトンボ♂



オオシオカラトンボ♀



シオカラトンボ♂



シオカラトンボ♀



チョウトンボ♂



チョウトンボ♀

きゅうしゅつさくせん ヤゴ救出作戦でたくさんのヤゴを救出しました

6月2日(木)に磐田市立田原小学校の3年生、6月9日(木)には磐田市立向笠小学校の3年生が「プールのヤゴ救出作戦」を行いました。両校とも長年にわたり総合的な学習の時間を使って実施しています。

子どもたちは、ひざ下ぐらいまで水が抜かれたプールに入り、底をすくうと網の中に1~2cmの大きさのヤゴが入っていました。田原小学校は、コノシメトンボやアキアカネなどのヤゴを、向笠小学校は、アキアカネやシオカラトンボなどのヤゴを救出しました。子どもたちは、家や学校で救出したヤゴを育てることで、命の大切さやヤゴの生態について学びます。順調に育てば、夏休み前ごろから羽化が見られます。



田原小



向笠小

ボランティア活動、ありがとうございました

5月29日(日)に桶ヶ谷沼でボランティアによる作業が行われ、中学生地域リーダー養成講座に登録している3年生22人と一般参加の方3人の合計25人にご参加いただきました。

桶ヶ谷沼にはトンボの産卵を促すとともにアメリカザリガニなどの天敵からヤゴを守るための容器が各所に置かれています。容器には水草が入っており、年月が経つと中の水草が繁殖しすぎてしまい、トンボが産卵しにくくなってしまいます。そのため、今回は水草を間引く作業を行いました。

参加者たちは、皆で協力して容器内の水草を根から切り分け、容器の中と外に設置し間引きました。これは、ヤゴなどの小動物が水の中に戻れるようにするためです。

安全に手際よく作業が進み、1時間半程度で目標とする数の整備が終わりました。

参加者は「整備の成果が出る来年が楽しみ」と言っていました。



閉会式の様子



カマで水草の根を切る様子



切った根を間引く様子